

科目名・クラス	開講期間	曜日・時限	単位数	担当者名
現代の国際社会(P)	前期		2	上久保 誠人
授業の概要				
<p>現在の国際社会で起きている現象を、冷戦の終結、グローバリゼーションの影響などの状況変化を念頭に置きながら学ぶ。日本では太平洋を中心とした世界地図で国際社会を見ることが多い。ここでは日本と米国は隣国であり、欧州や中東は遠隔地に見える。しかし、日本以外で使われることが多い「グリニッジ標準時」を軸にした世界地図で見ると、大西洋を中心に米国、欧州、中東は近隣であり、日本は極東に位置している。この授業では「グリニッジ標準時から見た国際社会」という、日本ではあまり一般的ではない視点の導入により、国際社会の多角的な見方を養う。この授業は、講師の商社マンとしてのビジネスや海外留学の経験など様々な話題も交えながら進めたい。</p>				
到達目標				
現在の国際社会が直面する問題の包括的な理解。多角的なものの見方の習得。				
履修しておくことが望まれる科目				
授業スケジュール(※履修している学生に対して事前に説明があった上で、変更される場合があります)				
授業回数	テーマ	キーワード		
1	イントロダクション(「グリニッジ標準時から見た国際社会」とは)	世界地図、コモンウェルス(英連邦)、「極東」		
2	東西冷戦	ベルリンの壁、鉄のカーテン、封じ込め、自由主義、共産主義、NATO、ワルシャワ条約、キューバ危機		
3	アジアの冷戦	台湾、朝鮮戦争、ベトナム戦争、文化大革命、ポル・ポト、天安門事件		
4	パレスチナ問題と中東問題	シオニズム運動、ユダヤ人虐殺、三枚舌外交、イスラエル建国、中東戦争、パレスチナ難民、中東和平		
5	ソ連の崩壊と東欧の民主化	ペレストロイカ、グラスノスチ、ベルリンの壁崩壊、ユーゴ紛争		
6	湾岸戦争	多国籍軍、国際貢献、PKO、		
7	米同時多発テロ以降の国際関係(イラク、アフガニスタン)	対テロ戦争、大量破壊兵器、アルカイダ、経済制裁、9・11、タリバン		
8	欧州連合	ユーロ、マーストリヒト条約、欧州議会、通貨統合		
9	国際経済(通貨と石油)	ブレトン・ウッズ体制、ニクソン・ショック、変動相場制、基軸通貨、OPEC、石油ショック、セブン・シスターズ		
10	核兵器の拡散	イラン、インド・パキスタン、イスラエル、北朝鮮、悪の枢軸、ミサイル防衛構想、		
11	東アジアの国際関係①(北朝鮮の核開発)	拉致問題、核疑惑、6カ国協議、経済制裁、		
12	東アジアの国際関係②(日中関係)	対中ODA、靖国問題、政冷経熱、東シナ海の下海底ガス田、		
13	米中関係	人民元切り上げ、G2体制、		
14	世界の中の日本の役割	東アジア共同体、地球温暖化、核廃絶、アジア通貨統合、		
15	まとめ(レポートの講評)	多極主義		
(学部科目)授業外学習の指示 / (大学院科目)授業の方法				
この授業は「国際社会」理解の入り口でしかありません。授業を通じて1つでも関心を持ったことがあったら、新聞を読み、本を読み、友達と議論をして、理解を深めることに努めてください。				

成績評価方法（※原則として変更されることはありません）				
種別	割合	評価基準等		
定期試験(筆記)	%			
レポート試験	— %			
平常点評価 ・日常的な授業における取組状況の評価 ・学習到達度を最終的に確認するテスト ・小レポート	100 %	レポート40%、出席40%、授業への取り組み20%		
[備考]				
受講および研究に関するアドバイス				
もし可能ならば、英文で書かれた欧米の新聞・雑誌における国際関係の記事をインターネットで探して読んでください。政策科学に関連する専門性の高い英文の読解力を養うことができますし、日本と異なる欧米のものの方の見方に触れることができます。最初は難しく感じるかもしれませんが、自分のペースでコツコツやってみてください。				
教科書				
書名	著者	出版社	ISBNコード	備考
そうだったのか！現代史	池上彰	集英社出版		
ニュースでわかる世界の裏事情	池上彰	青春出版社		
[備考]				
参考書				
書名	著者	出版社	ISBNコード	備考
[備考]				
参考になる WWW ページ				
教員との連絡方法				
その他				

